

令和6年度の国民年金保険料は、 月額16,980円です

保険料は、日本年金機構から送付される納付書で、金融機関、郵便局、コンビニエンスストアで納めてください。納付方法は現金のほか、口座振替やクレジットカード、スマートフォンアプリでの納付もできます。

退職された方や学生の方、所得が少ない等の理由により保険料の納付が困難な方は、免除や猶予の制度がありますので、川越年金事務所もしくは町民課国保年金担当へご相談ください。
※令和6年度の国民年金保険料免除申請は、7月から受付を開始します。

☎川越年金事務所 ☎242-2657
☎町民課 国保年金担当 ☎内線123

国民年金基金をご存知ですか

国民年金基金は、自営業やフリーランスなどの国民年金第1号被保険者の方々が、ゆとりある老後をすごせるよう、自分で入る公的な個人年金であり、国民年金法に基づき設立された制度です。

ライフプランに合わせ、支払う年金額や受取期間を設定できますので、余裕を持った老後資金を確保するため、是非ご利用ください。

※次のような方は加入できません。

- ①厚生年金に加入している方
- ②国民年金の第3号被保険者
- ③65歳以上で国民年金に任意加入している方

※支払った掛け金は社会保険料控除の対象となり、確定申告で税金が軽減されます。また、受け取る年金は公的年金等控除となります。

☎全国国民年金基金
☎0120-65-4192

生活習慣病重症化予防対策事業についてのお知らせ

糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中のリスクを高め、腎症、網膜症、神経障害などの合併症にかかるると日常生活に大きな影響を及ぼします。

糖尿病になっても質の高い生活を送るためには、糖尿病の早期発見と継続的な治療、そして食事や運動面での生活習慣の改善が重要です。

受診勧奨を実施します

糖尿病の初期は自覚症状が出にくいいため、放置すると気付かぬ間に重症化することがあります。

町では、国民健康保険の被保険者を対象に、特定健診データや医療機関受診状況を確認して、糖尿病の治療が必要な方や治療を中断された方に対して、6月から医療機関受診についてのお知らせや電話連絡をさせていただいております。

お知らせの送付や電話連絡があった場合は、速やかに医療機関で受診してください。

保健指導を実施します

町では、糖尿病治療のため越生町と毛呂山町の医療機関に通院している国民健康保険の被保険者のうち、糖尿病性腎症(※)の重症化リスクが高い方を対象に、適切な食事の摂り方や適度な運動の実践など、生活習慣を改善するための保健指導を実施いたします。

対象となる方には5月下旬に「糖尿病性腎症重症化 予防プログラムのご案内」を送付し、6月に電話勧奨を行いますので、積極的な申し込みをお願いします。

また、保健指導にご参加いただいた方に対し、継続支援も行っております。(保健指導修了後3年以内の方が対象です)ぜひ、ご参加ください。

※糖尿病性腎症：糖尿病の合併症の1つで、高血糖状態が続くことにより、腎臓の機能が損なわれ、血液中の老廃物を尿として排出できなくなり、最終的には腎不全となる危険な病気です。

☎町民課 国保年金担当 ☎内線121

町長室から

越生町長
新井 康之



平物産(株)に対する訴訟 弁論準備手続中

平物産(株)に対して町が提起した「建物等取去土地明渡請求事件」の裁判は、町と相手方双方に弁護士がついています。現在は、弁論準備手続で裁判所と双方の弁護士がウェブ回線を利用して争点の整理をしています。

なお、平物産(株)の建物全体に対する建築確認は埼玉県の権限ですので、県の担当者にも出席してもらい、3月28日に古池地区の住民の皆さまに対し報告会を開催しました。

入学(園)式に出席 新学期、給食費無償化スタート

越生保育園の入園式が4月5日、小学校・中学校の入学式が4月8日行われました。このうち、保育園・越生小学校・中学校の入学式に出席しました。梅園小学校については、卒業式に私が出席したため、入学式は副町長が出席しました。

保育園の入園児は、あいさつも元気にできました。私が交通安全母の会からいただいた、マスコットの「ぶじ かえる」を見ながら、交通事故に注意して家に「ぶじ かえる」ようにして下さいと言うと、しっかり返事をしてくれました。

小学校・中学校の1年生は、つい先日まで保育園や小学校に通っていたとは思えないほど急にしっかりしてきたように見え、感心しました。

いよいよ新学期がスタートしました。越生町は、今年度から、小学校や中学校に通う児童・生徒の給食費を完全に無償化いたしました。また保育園等に通う園児の給食費も同様に無償化しました。次世代を担う子ども一人ひとりを町の宝と捉え、子育てをされる皆さまの経済的負担を軽減し、安心して子育てしていただくためです。

今後も子ども施策を町の重要施策に置き、子育て支援や教育環境の整備を図っていきます。



▲保育園でマスコットの「ぶじ かえる」をかざして、あいさつ

◀マスコット「ぶじ かえる」

今年も虚空蔵尊の桜 すばらしい

現在4月中旬、この稿を書いています。

山の木々が芽吹き、淡い緑と桜が見られます。俳句の季語で、このような山の姿を、山笑うといいますが、越生町は山々の微笑みに包まれています。

今年も「虚空蔵尊さくら公園」の桜がきれいでした。昨年も少し紹介しましたが、「地域づくり上野二部会」の皆さまが、山林3ヘクタールを切り開いて、桜の苗木180種類、300本の植え付けを行いました。期間は11日間。徐々にレンギョウ、ヤマブキ、ツツジ等の植え付けや柵づくりほか園内の整備を行いました。その後、地元ボランティア「虚空蔵尊さくら管理グループ」を結成し、月1回の管理作業のほか、年2回区民の皆さまが、下草刈りを実施しています。現在は桜161種類、307本とのことです。色々な種類の桜が時期が少しずつ異なって咲き、その下に黄色のレンギョウやヤマブキ、ピンクや赤のツツジも咲いて色のコントラストも素晴らしいです。町外の人も多く来て感動していました。手入れをしていただいている上野二区の皆さまに感謝しながら見させていただきました。



▲虚空蔵尊さくら公園